

[WG名]

デジタルインボイス利活用研究WG

[補助事業名]

デジタルインボイス活用 岐阜モデルの利活用の調査・研究・実証実験

[幹事企業名]

グレートインフォメーションネットワーク株式会社

[WGメンバー]

特定非営利活動法人 大垣観光協会

船町湊まちづくり株式会社

株式会社ミライコミュニケーションネットワーク

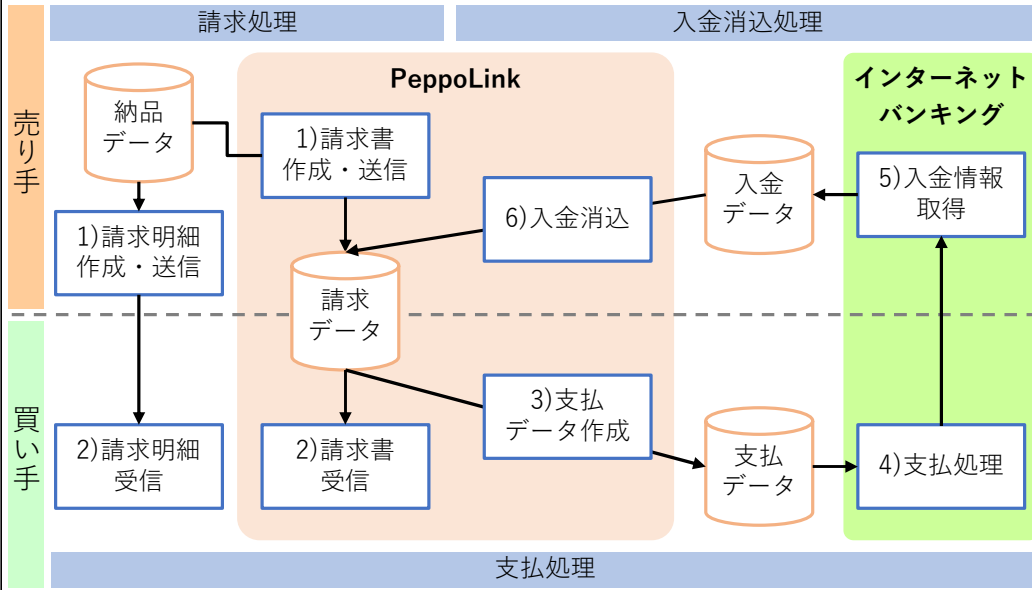
01 事業概要

大垣観光協会と各事業所間で行うふるさと納税関連業務の請求・支払処理を2024年11月にリリースされたデジタルインボイス活用岐阜モデル「PeppoLink」を活用し業務効率化・省力化を目的とし、実施にあたりどのような課題・問題点があるか具体的に実証実験を行う。

02 実施内容

ふるさと納税管理システムの納品データおよびデジタルインボイス利用サービス「PeppoLink」、インターネットバンキングを活用し、請求・支払・入金消込処理のデジタルインボイス対応を実現する。

※デジタルインボイス対応… Peppol形式の適格請求書を使用し、コンピューターが直接処理しやすく人の手を介さず電子データで処理できること



03 検証項目とその結果

業務プロセス・手順改善結果 (売り手4社、買い手1社にて検証)

	1) 改善前 処理時間[mm:ss]				2) 改善後 上段: 処理時間[mm:ss] 下段: 増減率			
A) 請求処理 [売り手]	06:17	11:00	03:01	12:29	07:49 24.4%増	11:20 3.0%増	04:08 37.0%増	05:52 53.0%減
B) 支払処理 [買い手]	15:40				23:22 49.1%増			
C) 入金消込処理 [売り手]	01:42	15:30	2:39	00:00	01:39 2.9%減	-	-	01:50 8.3%減
D) 合計	23:39	42:10	21:20	28:09	32:50 38.8%増	-	-	31:04 3.0%増

まとめ

- 改善前と後で処理時間は増加したが、請求・支払・入金消込処理の「デジタルインボイス」対応できたことで請求金額を再入力する必要がなく、ミス削減・省力化することができた。
 - A) 請求処理においてPeppoLinkで対応できない請求明細の作成・送信を別ツールで行う必要があり、手順が増え処理時間が増えた。別ツールを使用せずPeppoLinkの請求処理のみで対応できていた場合はA) 請求処理は最大70.8%削減、D) 全体合計作業時間は最大4.3%削減できたと思われる。
 - B) 支払処理においてPeppoLinkの複数事業者への一括支払データ作成機能に不足があり、まとめた支払処理できず手順が増え処理時間が増えた。
- ・実証実験では買い手のB) 支払処理は4事業者分であったが、支払対象を全事業者とするとともに、複数事業者への一括支払データ作成機能の不足が改善すれば、従来の処理時間より大幅に時間短縮されると思われる。

04 今後の展開

実証実験の結果、想定成果は達成できなかったが、判明した課題を解決する方法の検討および「PeppoLink」サービスのバージョンアップ・機能改善の動向を確認し、ふるさと納税関連業務以外でも「PeppoLink」サービスの利活用の展開を検討する。